

# 第11回全国中学生創造ものづくり教育フェア

## 「あなたのためのおべんとう」コンクール実施要項

- 1 目的 ○中学校技術・家庭科での学習した内容を生かし、おべんとうづくりを行う。その成果の発表を通して、知識や技能の向上を図りよりより食生活を目指そうとする意欲を育てる。  
○食べてもらう相手のことを考えたおべんとうづくりを通して、身近な人とのかかわりの大切さや「食」の重要性を知る。  
○コンクールを通して、参加者が互いの工夫点や技能を学び合い、また全国の中学生の交流の場とする。

2 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会

3 共催 未定

4 会期 平成23年1月22日（土）～23日（日）

5 会場 〈競技会場〉女子栄養大学（駒込校舎）JR山手線・地下鉄南北線駒込駅より5分  
〒170-8481 東京都豊島区駒込3-24-3  
〈全体会場〉新木場タワー JR京葉線・地下鉄有楽町線・東京臨海高速鉄道新木場駅より7分  
〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22  
TEL 03-3521-6600 FAX03-3521-6602

### 6 日程

1月22日 競技会場（女子栄養大学）		1月23日 全体会場	
時 程		時 程	
11:00	受付開始	9:00	プレゼンテーション
11:30	開会式		結果発表、表彰
12:00	会場説明	10:00	講評
12:10	準備時間（米とぎや乾物の処理）	12:00	おべんとうコンクール競技大会終了
12:40	競技開始	13:00	全体会閉会式開始
14:10	競技終了	16:30	全体会閉会式終了
14:15	プレゼンテーション開始		
15:00	審査開始 明日の説明、連絡		

### 7 参加資格・方法

- (1) 都道府県中学校に在籍する生徒で、校長及び都道府県技術・家庭科研究会長が参加を認めたものとする。  
(2) 各都道府県における予選大会に参加する。  
(各都道府県大会につきましては、各道府県事務局にお問い合わせください。)  
(3) 各都道府県代表（各1グループ）より、運営委員会にてレポート（レポートと材料表）審査を行い、全国大会出場グループを選出する。

8 参加費 2,000円 交通費・宿泊費は個人負担

9 参加人数 20グループ（1グループ、2人または3人のグループ競技とする）

## 10 審査項目

計 画	食材・献立	食材・献立が対象者にふさわしいか。
	栄養バランス	対象者の食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすに準じ、栄養バランスが取れているか。
	規定課題	魚を効果的に調理し、おべんとうに適した献立になっているか。
技 能	手順	調理の手順や作業は能率的に行われているか。
	調理方法	おべんとうに適した調理方法が工夫されているか。
	盛りつけ	彩りや配置を工夫して盛りつけているか。
	味	個々の食材の味を生かし、おべんとうに適した味付けとなっているか。
	安全な作業	用具を適切に扱い、安全に配慮して作業を行っているか。
	環境への配慮	環境に配慮して調理を行っているか。(食材、水、熱源、器、洗剤 等)
表 現	完成	時間内に完成することができたか。(後片付けも含めて90分間)
	テーマ	テーマや構想がレポートやプレゼンテーションに反映されているか。

※事前にレポート審査を行い、当日競技の審査を行う。

## 11 競技について

### (1) 食材

- ① 規定課題「魚を使った調理」を献立の中心とする。  
\*魚は、切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍等でもかまわない。  
甲殻類(エビ、イカ、カニ)は規定課題とはみなさない。
- ② 材料費の目安は1人分800円以内とする。(人数分×800円)
- ③ 競技当日は、基本調味料(塩・砂糖・コショウ・サラダ油・酒・みりん・醤油・酢)は準備するが、食材や特別な調味料は、各自で準備する。

### (2) 競技時間

- ① 片付けも含めて90分以内とする。
- ② 洗米吸水は競技準備の時間(競技開始30分前)に行ってもよい。(炊飯開始も可)  
乾物等の処理も同様とする。
- ③ おべんとうのふたをしめて完成終了とする。

### (3) 用具

- ① お弁当箱と小物は各自で選び持参する。色、形、大きさは、食べてもらう相手にあったものを使用する。
- ② 調理器具は本部で用意するが、特別な用具等は各自持参してもよい。ただし、包丁は安全面を考え、持ち込みは禁止とする。(出刃包丁等も用意してある。)

### (4) 服装

- ① エプロン、三角巾、上履きは各自持参とする。

## 12 昨年度からの変更点

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>① 食 材：米は持参とする</li> <li>② プレゼンテーション：1チーム1分の時間を厳守する。</li> <li>③ 問合せ・申し込み先：多摩市立青陵中学校 矢野尚子 電話042(376)2211</li> </ol> |
|---|

### 13 表彰

文部科学大臣奨励賞 厚生労働大臣賞 女子栄養大学学長賞  
(財)つくば科学万博記念財団理事長賞 日本中学校技術・家庭科研究会会長賞 など

### 14 参加申込

(1) 申込期限 平成22年12月1日(水)

(2) 申込先

〒206-0012 東京都 多摩市 貝取2-9-1 多摩市立青陵中学校  
担当 矢野 尚子  
TEL 042-376-2211 FAX 042-337-7649

(3) 申込方法

所定の用紙に必要事項を記入し、学校長、都道府県市(大阪市、京都市)研究会長の承認を経て申し込む。

①参加申込書(応諾書)

②あなたのためのおべんとうレポート(材料表を含む)1部

※②の用紙: 全日中Webページ <http://ajgika.ne.jp/>よりダウンロード

日程	平成22年12月 1日(水)	申込み締切
	12月 4日(土)	審査
	12月 8日(水)頃	学校を通じて本人に審査結果を連絡
	12月17日(金)	本人から確認承諾書を本部担当に送付

### 15 その他

(1) 大会期間中の負傷、疾病については応急処置のみ行う。

(2) 参加生徒の学校名、氏名、作品がWebページなどの掲載される予定。

(3) 全日本中学校技術・家庭科研究会Webページアドレス <http://ajgika.ne.jp/>

\* 本コンクールに関わる諸連絡、質問等の連絡先

〒206-0012 東京都 多摩市 貝取2-9-1 多摩市立青陵中学校  
第10回全国中学生ものづくり教育フェア「あなたのためのおべんとう」コンクール事務局  
担当 矢野 尚子  
TEL 042-376-2211 FAX 042-337-7649  
E-mail [seiryochu@ttv.ne.jp](mailto:seiryochu@ttv.ne.jp)